

2020年9月24日号
No.24

対策本部ニュース

発行：全建総連コロナ対策本部
東京都新宿区高田馬場 2-7-15

“いまできること” 模索し実践

千葉土建市原支部が工作動画をオンライン配信

新型コロナウイルス感染症の影響で公共施設等が借りられず、住宅デーや土建まつりが開催できないなか、千葉土建市原支部が動画投稿サイト・YouTubeにアップした『オンライン工作教室』がいま話題です。支部にはテレビ局や新聞社など複数のメディアが取材に訪れ、そのとりくみを紹介しています。

千葉土建市原支部が毎年住宅デーのなかで実施し、地元の小学生に大人気だった工作教室。今年は新型コロナウイルスの影響で住宅デーを開催できないことから、支部では「コロナ禍でも何かできることはないか」「外へ遊びにいけない子ども達に楽しみを届けたい」と話し合いを重ね、動画配信による工作教室を実施することを決めました。

8月19日に支部事務所で、前端文雄さんと加藤正作さんの大工2人による木製本棚の工作実演を撮影。『わくわくオンライン工作教室』として動画投稿サイト・YouTubeに配信しました。木製本棚の工作キットは160セットを作成・準備し、市内の小学校にチラシで案内。24日から市内4会場で無料配付しました。配付開始わずか5分でキットがなくなる会場も出るなど、大きな反響を呼びました。

市原支部のとりくみについて、千葉テレビや千葉日報、地元ケーブルテレビ、市原FMなど複数のメディアが取材に訪れました。

8月24日に千葉テレビのインタビュー取材を受けた動画出演者の前端さんは「工作教室をとおして、子どもたちに少しでもモノづくりに興味を持ってもらいたい」と話しました。同じく取材を受けた市原支部の吉岡健史書記長は「動画の編集作業は時間がかかったが、前端さんと加藤さんのやりとりがおもしろく、楽しい思い出になった」と感想をのべ、「毎年当たり前にやっていたことが、コロナの影響によってできなくなっている。いまできることは何か、どうすればできるのかを模索していきたい」



前端さん④と加藤さん④の2人が実演しています

と答えました。

『わくわくオンライン工作教室』は <https://youtu.be/hJ0rZ-KtaUE> か、
右のQRコードから視聴できます。



(千葉土建・機関紙「千葉土建」2020年9月15日から転載)

建設埼玉 組合員限定で生活資金を低利融資 組合提携・ろうきん緊急生活応援ローン

建設埼玉では、新型コロナウイルス感染拡大により、収入減などが発生した組合員を応援するため、生活資金の融資を組合で出来ないかこれまで検討してきました。

中央労働金庫に、無担保、低金利で生活資金の融資を受けられないか相談を持ち掛けたところ、建設埼玉組合員限定で下記融資商品の提案を受け、この度提携することとなりました。ご利用の際は、所属の地区本部へお問い合わせください。

融資商品名「緊急生活応援ローン」

- ・融資限度額 1人あたり100万円まで
- ・融資利率 年1.5%（固定金利）
- ・資金用途 生活資金（ろうきんローンの返済資金、事業性資金には出来ません）
- ・返済期間 10年以内で個々に設定
- ・融資対象者 建設埼玉組合員で個人（従業員層）が対象

※直近1年分の源泉徴収票などが必要

- ・一人親方については事前に相談が必要

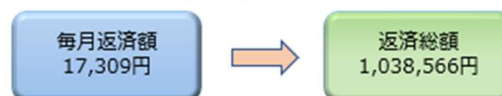
※直近3年分の確定申告書の控えなどが必要

- ・勤続年数1年以上で、かつ年収が150万円以上のもの
- ・申し込み時が18歳以上、最終返済時が満76歳未満の者。（未成年は親権者の同意が必要）
- ・中央労働金庫指定の保証協会の保証を受けられる者（その他）
- ・この緊急生活応援ローンを利用される方は中央労働金庫で返済用普通預金口座を開設する必要があります。
- ・各地区本部単位で地区本部を担当する中央労働金庫の支店と協定を結び、組合員が最寄りの中央労働金庫で相談出来るようにします。
- ・取り扱い期間は2021年3月31日までとなります。

(建設埼玉・機関紙「建設埼玉」2020年9月1日から転載)

ろうきん緊急生活応援ローン返済シミュレーション

- ・例① 借入…1,000,000円（5年返済）



- ・例② 借入…300,000円（5年返済）

